

1. 活動の概要

6月23日(金)、浜田市立第四中学校で『心に残る文化財子ども塾』を実施しました。国の史跡に指定されている周布古墳など、浜田市にある文化財や遺跡について話を聞き、古代の石見地域のようすを学習しました。

講座のあとは、実際に日脚遺跡・道休畑遺跡などから出土した土器・埴輪・石器の実物を見て触ったりして、古代人の暮らしを体感しました。

2時間目は技術室に移動して、「勾玉づくり」にチャレンジしました。滑石をヤスリやサンドペーパーを使って削ります。粉で手を真っ白にしてがんばって磨きますが、なかなかイメージした形までできません。古代人の技術のすごさにあらためて感心していました。

2. 活動の様子



「浜田市の遺跡について学習中です」



「これが周布古墳の円筒埴輪です！」

② 勾玉づくり体験



「勾玉作りに挑戦中です」



「まだまだ磨きます！」

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから

- ・はじめて勾玉を作って少し難しかったけど、先生に教えてもらいながら上手に作ることができました。これからも勾玉を大事にしたいです。
- ・実際に土器や埴輪に触れたことがよかった
- ・須恵器と弥生土器の違い、弥生土器と縄文土器の違いがわかったのが心に残った

2) 担任の先生から

- ・地域の古代から中世にかけての様子をととてもわかりやすく、また生徒に興味をもたせる質問をされてよかった。土器などの実物を見ることによって関心が高まりました。

3) 埋文センターから

実際の出土品に触れることで、古代のひとびとの暮らしがより身近に感じてもらえたのではないのでしょうか。こうした学習活動をきっかけに、地域の歴史や文化財に興味・関心を持っていただけるとうれしいです。